

みんなで作る

森ものがたい

2019年12月7日発行 第132号

油山自然観察の森
森を育てる会



〒811-1355
福岡市南区大字松原855-1
TEL:092-871-2112
FAX:092-801-8661
<http://www.morikai.org/>
mail: aburayama@morikai.org



<10/6 カブトムシの森作業>

も	表紙	1
く	活動ノート(9/1,9/29,10/6,10/20,11/10,11/23)	2~4
じ	特集「カブトムシの森林床植生調査」	5~6
	油山のお仕事日記「幸せの青いルリビタキ」	7
	リレーコラム「一生の教訓」	7
	うん・えー会報告(9/1)	8
	活動予定	8

「森を育てる会」は福岡市油山自然観察の森の保全活動を通じ、広く緑地保全活動を行う市民の育成・交流を行う事を目的とする市民グループです。活動は（公財）福岡市緑のまちづくり協会の助成を受けて行っています。会では、随時、会員を募集しています。興味がある方はメールまたは電話でご連絡下さい。

活動ノート



9月1日(日)

油山自然観察

10:30~12:40



◆参加者：鎌田、川上、林、静岡平野家5名 計9名

◆内容：油山にはボランティアグループが森会以外に3グループあります。今日はその1つ「自然案内人の会」と一緒にクスの広場から吊り橋まで樹木をテーマに散策しました。

“案内人”さんは近々行われるセンター行事の下見を行ったもので、それに同行させていただきました。

今回のセンター行事は主に樹木観察ということで、あらかじめルート上にある樹木数種の特徴や名前の由来等々の資料を基に見て回るといった感じでスタートしました。“森会”も“案内人”も自然や草木、生きものが好きな人たちです。野に放たれた羊のように道々でいろんなものを見つけてはそれを良く知る人が解説すると言った感じですからなかなか前に進みません。昼までに戻る為、何度も催促され後ろ髪をひかれる思いで先に進んで行きました。先週からの雨の影響か、きれいな色やオモシロイ形、模様などいろんなキノコが見られ、興味深い樹木の勉強もさせていただきました。

【ふりかえりより】

・しばらく天気が悪かった影響かキノコ類がたくさん生えていました。キノコ類は種類が分らないものが多いので、そのうちキノコさんに教えてもらいたいと思います。展望台から雲海が見えて雨の日も趣があると感じます。平野(陽)

9月29日(日)

カブトムシの森作業

9:30~12:00



◆参加者：鎌田、松雪 計2名

◆内容：台風17号による風倒木処理を行いました。活動に先立ち頑張って現地下見・当日の作業準備を行い、雨天バージョンの活動も用意して臨んだものの開始時間になっても参加は二人の寂しい状況。ミーティング、道具の準備、準備体操後にカブトムシの森へ移動し、まずは改めて被害状況を確認して回りました。幹折れ・枝折れ・傾倒木の処理と人数が揃えば草刈もしようと思いましたが二人では安全確保ができないため、止む無く伐倒は断念し、イタヤカエデ等大きくない傾倒木の伐採や幹折れして遊歩道を塞いでいるクヌギ数本の解体を行いました。

【ふりかえりより】

・すぐ10月だと言うのに何とと言う蒸し暑さ！半日の作業だったけどヘトヘトです。来週は

大人で楽に作業がしたい。

(松雪)

10月6日(日)

カブトムシの森作業

9:30~16:30



◆参加者：松雪、国広、鎌田、林、橋本、新地、樫崎、梁瀬、田崎、中島、長友、平野家5名、新牛込家2名、早川家3名 計21名

◆内容：今日は先週の2名だけの参加と打って変わり、柏陵高校の生物部や山岳部の高校生、子供たちを連れた3ファミリーの参加など、若々しいメンバーが主体の楽しい活動となりました。午前中はどんよりの天気だったのですが、予報では午後からは晴れるということ、また気温も20℃前後と作業には適したもので、今日は楽しくなりそうという予感をもって活動を始めました。

定刻の9時半にはほとんどのメンバーが集まりましたが、久しぶりの大人数に戸惑いもあって、作業内容や安全管理などの事前オリエンテーション、また現地での説明に時間を要し、作業は予定より30分遅れでの開始となりました。

今日の作業は、台風の影響で30度程度遊歩道側に傾いていて、いつ倒れるかわからないC地区のクヌギと、地上4m上で折れて、隣の木に掛かり木になっているクヌギの除伐、そして

強風で遊歩道付近に散乱した枝や落ち葉の除去、草刈りを行いました。

C地区の傾倒したクヌギの除伐は、まずは伐倒時の掛かり木を避けるため、伐倒方向に枝を伸ばしている隣接木(これも直径30cm前後の大きな木ですが)の枝払いや除伐から始めざるを得ず、午前中はその作業で終わってしまいました。傾倒したクヌギの伐倒には午後から取り掛かりましたが、直径が30cm以上と大きく、また30度前後傾いているため、通常の伐倒の要領と少し感じが違い手間取ってしまいました。それでも、午前中の隣接木も含め計画通りの伐倒ができました。

一方で、A地区の幹の途中で折れたクヌギの処理には本当に手間取りました。この木は掛かり木になっていたため、通常の根元からの伐倒は危険と考えられたので、高枝ノコで折れている部分から切り落とせば簡単に処理できると考えていました。ところが敵もさるもの、最初の段階では簡単に切れるのですが、ねじれ曲がる形で折れているため、切っていくにしたがってノコが噛みつかれ動かなくなってしまいます。そこで、いろんな方向からロープで引っ張ったり、切る方向を変えたりとヘトヘトになりながら、2時間程度かけてようやく切り落とすことができました。プロの方たちが、「風倒木の処理は危険で大変だよ」と言われていたのを実感した次第です。

また、遊歩道の清掃班は、子供たちやお母さん達を中心に、遊歩道上の木の枝や葉っぱだけでなく、端部に溜っている土も含めてこれまでで最もきれいな遊歩道にしてくれました。ただ、土の中にいたミミズさんたちも一緒にシャバに放り出されたようで、ご迷惑をおかけ

したのではと世話役としては恐縮しております。

今日の作業の目的は、台風で被害を受けた木の処理ということで、中途半端な形で終わらせるわけにはいかず、またC地区の処理したクヌギも来園者に影響のないように処理しておく必要があったため、定刻よりも1時間程度も長い作業となってしまいました。ただ、その中で柏陵高校の皆さんが本当に頑張っていたと、直径30cm前後のクヌギの材処理もきれいにできました。そして、小さい子供たちも、慣れないノコを使っての枝切り、唐グワでの道づくりなど、生き生きと楽しそうに作業を手伝ってくれました。みんなしんどかったと思いますが、本当に有難うございました。今日は、大人数での作業の楽しさを実感させていただいた1日でした。

【ふりかえりより】

・伐木する大変さや必要さが身に染みて良い体験でした。環境課にいるから、これを今後の学校生活に繋げたいです。(田崎)

10月20日(日)

(1) アカマツ林作業

9:30~16:00



◆参加者：国広、林、川上、鎌田
計4名

◆内容：今朝の気温18度、曇りで絶好の作業日和となりました。下見の時には遊歩道の両脇は背丈の高い雑草が繁茂して、散策するには躊躇するような状態でしたが、センターによりきれいに草刈りして頂き歩きやすくなっていました。

作業予定場所を確認の後、早速E地区の急斜面で足を踏ん張り汗をかきながら、小径の広葉樹や灌木を伐り進めました。伐った雑木は全て斜面下の遊歩道に降ろし、幹は遊歩道に沿って並べ枝葉も土にかえりやすいように処理しました。思いのほか伐採対象木が多い為、予定を変更して午後も同作業を継続することにしました。

午後からの作業は上下の遊歩道間の見通しが完全にきく目鼻がついたこともあって、午前中に増すハイペースで伐り進みました。途中、カブ森の植生調査を終えたメンバーも合流、A地区のキョウ周りの草刈りの後はE地区の応援に入ってもらい、後半は4人がかりで作業を行い、ほぼ予定の時間に終了出来ました。E地区の大径木のアカマツが雑木に邪魔されずに遊歩道から良く見えるようになりました。

反省点もありました。精力的に伐採したものの後半は丁寧な枝葉処理を行うには時間不足となり、細断せずにやむなく遊歩道の脇に積むことになった事。足場も悪く疲れも出てきた中、伐採木を降ろす作業中にヒヤリとする場面があった事。余裕のある作業と近接作業を極力避けるなど安全の為に基本を守る事の大切さを改めて認識しました。

【ふりかえりより】

・キョウの周りの雑草刈りとアカマツ林のたくさんの雑木処理をしました。(鎌田)

(2) カブトシの森植生調査

9:30~12:00

◆参加者：鎌田、吉田、柴戸
計3名

◆内容：虫や植物を観察しながらカブトシの森へ向かい10時半から調査区の区画を張って11時から調査開始。5×5mの4つの区画で、蕾、花、

果実の付いている植物の種類と被度を調べました。同定は草本類にたけた二人、記録は一人が行い、12時頃に調査は完了しました。

今回の調査では26種確認でき、被度が高い種類はヤブマメでした。初めて出現した種類としてはヒメアザミが見られました。伐採が進み林床に日当たりが良くなったカブトムシの森で増えた種類です。今回のA地区ではツルニンジンのオモシロイ形をした実やホオズキのような形をした可愛い蕾が見られました。一方、調査区で毎年見られていたジャコウアゲハの食草であるウマノスズクサは見られませんでした。

【ふりかえりより】

• いろいろな植物を見る事ができて楽しかったです。オリエンテーリングでたくさんの方がカブトムシの森のA地区に入ってくれました。(柴戸)

11月10日(日)
カブトムシの森整備
9:30~15:00



◆参加者: 静間、橋本、林、山川、鎌田、松雪、砂田、国広
計8名

◆内容: 定刻から事前打ち合わせを行い、特に一般の方が多く入るので安全確保に細心の注意を払うことと、まだ気温が高めなのでダニへの注意喚起を行いました。道具の準備・準備運動をしてA地区に向かい、作業に入る前に地区内の秋を観察しながら伐採予定木の確認を行い、2班に分れて作業に入りました。

1班は休憩小屋前から湿地方向に4本を伐採、2班は西側遊歩道下部で2本を伐採しました。2班の1本は、伐倒方向は予定通りだったものの、上部のしなりが予想以上だった為、その部分が遊歩道にはみ出してしまい、止む無くそれらの枝葉処理をする事となりました。必要な本数を伐採出来たところで少し早めでしたが、作業を終了して引き上げました。

【ふりかえりより】

• 2月の行事に向けた材が無事確保出来ました。これから伐採の季節になるので、気を引き締めて行きましょう。(静間)

11月23日(日)
(1)アカマツ林作業
9:30~15:00



◆参加者: 松雪、国広、鎌田、織田、静間 計5名

◆内容: 小春日和といえる一日の始まり。作業はA地区の下草刈りとC~D地区の萌芽枝除伐です。A地区は午前中でほぼ作業が終わり、落ち葉等も少ないアカマツの幼木好みの斜面になりました。一方、背丈以上の萌芽枝が繁茂していたC~D地区は範囲も広くシダやいばらが邪魔をして全員汗びっしょり、クタクタになりながらの作業でしたが、一昨年までに整備した作業道も蘇りました。B地区からのE・F地区の見通しも良くなり、前以上のすっきりしたアカマツ林となりました。C地区でも腐葉土の少ない砂地にはアカマツの実生幼木が随所に顔を出しており、これまでの作業が無駄ではなかったことを実感できました。

C~E地区斜面での地掻きを今後精力的に進める必要性を実感した次第です。アカマツ林整備は目に見えて目標に近づいているのを感じます。

【ふりかえりより】

• 暑い中、一心不乱に草刈り、萌芽枝を切り、林床がすっきりしました。(鎌田)

(2)草木染め
9:30~14:30



◆参加者: 平野家5名、杉尾家3名 計8名

◆内容: 気温20度前後の晴れの天気で火と水を使う草木染めには良い日になりました。油山で事前採集した栗のイガとクサギの実、当日にクヌギの葉を採集し、キャンプ場で火をおこし湯を沸かして、栗のイガとクヌギの葉の染液を作り、その間に、ビー玉や割りばしを使い布に模様を作ります。染液に布を浸した後、鉄とミョウバンで媒染します。栗のイガは、鉄媒染で濃い灰色、ミョウバン媒染でウイスキー色、クヌギの葉は、鉄媒染で藍色、ミョウバン媒染で薄い茶色になりました。子ども達が作った模様が面白く素敵な作品ができました。クサギの実は部分染めに使い薄い青緑色の水玉模様のハンカチができました。同じ植物でも季節によって違う色になるそうで、今回は違う色づくりに挑戦したいです。

【ふりかえりより】

• ゆっくりペースで子供がいても無理なく楽しめました。独特なデザインと色に染まり作るのも楽しかったです。(杉尾)

カブトムシの森 林床植生調査の報告

カブトムシの森のA地区では、保全活動が林床植生に与える影響を調べるために、林床植生調査を行っています。2015年度から年2回(春と夏)、あまり種が見られなかったため、2016年度から春と秋に行っています。

今年度は春(4月21日)、秋(10月20日)に実施しました。

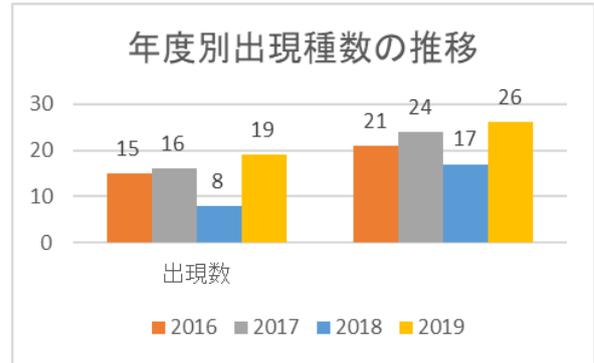
調査は、10m×10mの調査区を4つに分けて、5m×5mの区画4つ(調査区Ⅰ～Ⅳ)で行いました。蕾・花・果実が見られる種を記録すると共に、それぞれの植物の被度の計測を行いました。

被度は、階級の大きい方から、5、4、3、2、1、+の5つに分けられます。

春の調査票を下に、秋の調査表を次のページに示しています。

今年の春の調査では、19種、秋の調査では、26種類を確認する事ができました。多くは、過去の調査で見られた種と同じでした。

■過去4年の出現種数



実施日: 2019/4/21

実施者: 鎌田 柴戸 中嶋 吉田

科名	種名	被度の階級値				形態
		区画Ⅰ	区画Ⅱ	区画Ⅲ	区画Ⅳ	
ケシ科	ムラサキケマン	+	+	+	+	花・果実
ナデシコ科	ウシハコベ	+	+	+		蕾・花・果実
アカネ科	キクムグラ	+	+	+	+	花
スマレ科	ナガバタチツボスミレ	+		+	+	花
シソ科	カキドオシ	+	+			蕾・花・果実
カヤツリグサ科	スゲ属の一種	+			+	花・果実
アカネ科	ヘクソカズラ	+				果実
サトイモ科	マムシグサ	+	+	+		花
セリ科	ヤブニンジン		+	+		花・果実
キク科	ノアザミ		+			蕾・花
ナデシコ科	コハコベ		+			蕾・花・果実
スマレ科	ツボスミレ		+	+		花
アカネ科	ヤエムグラ		+	+		花
キク科	オニタビラコ		+		+	蕾・花
イネ科	イチゴツナギ		+	+	+	花
バラ科	ヘビイチゴ			+	+	花
イネ科	ミゾイチゴツナギ			+	+	花
ナデシコ科	ミミナグサ属の一種				+	蕾・花
タデ科	ギシギシ				+	蕾

過去4年の出現種数を比べて見てみると毎年1種程度微増ですが種数が増えていることが伺えます。カブトムシの森では、一斉伐採などの大きな攪乱を行わず、段階的に伐採を進めてきたのに合わせる形で、徐々に増加傾向にあるように見えます。

本年より実施する新五ヶ年計画では、5年をかけてクヌギを全伐し、クヌギの更新とその他の植物種を多様化するための方策を検討・実施していきま

実施日： 2019/10/20

実施者： 鎌田 柴戸 中嶋 吉田

科名	種名	被度の階級値				形態
		区画 I	区画 II	区画 III	区画 iv	
キク科	ヨモギ	+			+	花・果実
アカネ科	ヘクソカズラ	+				果実
バラ科	フユイチゴ	+		+	+	蕾・果実
カヤツリグサ科	コゴメスゲ	+	+	+	+	果実
イネ科	チヂミザサ	+	+	+	+	花・果実
タデ科	ミズヒキソウ	+	+	+	+	花・果実
イネ科	ササガヤ	+	+	+		花
キク科	シュウブソウ	+		+	+	花・果実
マメ科	ヌスビトハギ	+		+	+	果実
タデ科	ヒメミズヒキ	+				果実
タデ科	ハナタデ	+				花
フウロソウ科	ゲンノショウコ	+	+	+	+	果実
シソ科	ニガクサ	+				果実
セリ科	ウマノミツバ	+				果実
タデ科	イヌタデ		+	+	+	花・果実
ツククサ科	ツククサ		+	+		花・果実
ヒユ科	イノコヅチ		+		+	果実
イネ科	アシボソ		+	+	+	蕾
ナデシコ科	ウシハコベ		+			果実
ウコギ科	オオバチドメ		+			果実
キキョウ科	ツルニンジン			+	+	蕾・果実
バラ科	ダイコンソウ			+		果実
イネ科	ススキ			+		花・果実
マメ科	ヤブマメ			1	1	果実
キク科	ヒメアザミ			+		蕾・花
サクラソウ科	コナスビ			+		果実

油山のお仕事日記

「幸せの青いルリビタキ」

油山市民の森・自然観察指導員 小川真樹

秋が深まり始めると、冬鳥と総称される渡り鳥たちが油山にやってきます。その中でバードウォッチャーのお目当てになるのがルリビタキ（瑠璃鶯）です。漢字で書けばわかるように、オスは美しい青色。幸せの青いシリーズです。大きさはスズメとほぼ同じくらいのかわいい鳥です。11月中旬頃になると油山にやってきて、低木が混じった少し暗めの林で暮らします。渡来する数は多くありませんが、なわばりを作るので、観察ポイントを絞り込みやすいです。市民の森では、梅園、しいたけ圃場、カブトムシの森あたりでなわばりを作ることが多いです。

観察したい時は、まず自然観察センターで聞き込みをするのが良いです。その年のなわばりの場所を把握しています。なわばり周辺では声を頼りに探します。ヒッ…ヒッ…ヒッ…と一定のリズムで鳴きます。ジョウビタキ（扇鶯）も同じような声で鳴きますが、ルリビタキの方が丸みのある優しい声でヒッ…ヒッ…と鳴きます。聞き分けることができるようになると、様々なシーンで印象深い自己アピールへとつながります。「特技を教えてください」「ルリビタキとジョウビタキの声を聞き分けることができます」「すばらしい、じゃ採用」みたいな。そんな幸せも舞い込むかもしれません。

ルリビタキの1才くらいの若オスはメスと同じ地味な茶色をしていて、3才くらいに成熟するときれいな青色を発現します。ここで、オス同士のなわばり争いを観察した研究を紹介します。ケンカは、①威嚇→②追い回し→③取っ組み合いへと段階的にヒートアップしていくのですが、同色のオス同士のケンカに比べて、羽色の異なるオス同士のケンカの方がヒートアップせずに決着するという結果でした。成熟の度合いを外見でアピールすることで、同種で直接に傷つけあうリスクを減らしていると考えられます。

野生環境下における小鳥の一般的な寿命は1～2年。3才以上のきれいなオスのルリビタキは、やはり、会えたらラッキーな幸せシリーズであることは間違いありません。



オス



メス

リレーコラム

「一生の教訓」

早川 奈奈

私が小学2年生の時のことです。週に一度、小学校の帰りにディーゼル機関車に乗って町まで習事をしに通ってました。担任は古風なおばあちゃん先生で機嫌が悪いと帰りの会が長引くのが常でした。

その日、先生の機嫌は今までになく最悪で、私は教室の時計とにらめっこ。じっとりと汗をかいていました。

帰りのご挨拶が終わるなり、すぐ教室を飛び出して走り、震える手で切符を買い、ホームに降りた時には出発の笛が鳴ってました。

私は先頭の機関車部分に迷うことなく乗り込み、まだホームに残っていた女子高生の「ええ…」という声とともに汽車は動き出しました。

本当は客車にこっそり移動したかったのですが、客車へと続くドアに鍵がかかっている…。このまま次の駅まで乗っておくことが一番だと思い直しました。

ランドセルを背負ったまま白い手すりにつかまり、外を見るとお天気は快晴。稲刈りの終わった田んぼの中を風が流れていました。いつもより近いエンジンの音と匂いも多分ありました。とても心地よく感じられ手の震えも止まっていて、蒸し暑い客車よりずっといいな、と思いました。特別な時間でした。

森会でも毎回あれやこれやと心を砕いてくださる方々と過ごせて、とても心地よいです。樹々や生き物、野花等が好きな方の集まりですので、毎回興味ある話が聞けるのも素敵です。活動を通じ、自然の中で癒され学び、日々の活力を頂いている特別な時間です。自然が好きになりたい方におススメだと思います。

最後になりますが、私がやらかした事はその日のうちに知れ渡り、恥ずかしい&申し訳ない反面、8歳の子には帰りの会が短くなったことが嬉しかったという…結果オーライ？いや、焦った時の行動に十分気を付けたいと言うべきですよ？母ですから！



うん・えー会報告

2019年9月1日(日) 13:00~15:00

林、鎌田、川上、静間、平野家5 計9名

1. 役割決定、資料確認

2. 6~9月活動報告(詳細は、会報第131号参照)

6/23(日) 備品管理(国広)

7/7(日) カブ森作業(静間)

7/21(日) 木工教室(鎌田)

8/3(土) カブ森昆虫調査(新牛込)、せせらぎ整備(鎌田)

8/18(日) 活動説明会・木工教室(小川、鎌田)

9/1(日) 油山自然観察(小川&案内人)、うん・えー会(林)

3. 9~12月活動予定

9/29(日) カブ森作業(静間)→世話役代理・鎌田

10/6(日) アカマツ林作業(松雪)

10/20(日) カブ森作業(静間)→世話役代理・川上
植生調査(鎌田)

11/10(日) カブ森作業(静間) 予備日

11/17(日)

11/23(土) アカマツ林作業(松雪)、草木染体験(平野)

12/7(土) うん・えー会(林)、木工教室(鎌田)、成木調査(中嶋)

12/15(日) 納会(鎌田) →鎌田が担当する。

4. その他

4-1 上半期活動実績報告(林) 10.6人/回

4-2 森会会員用 ML が決定(静間) →
googlegroups で 即日使用開始。

4-3 2/9(日)の活動説明会について →下記事
項を検討する(小川R)

・項目-椎茸コマ打ち+カブ森見学、たき火、楯木
作り(180cmを90cmに切る)

・全体の時間割りを検討する。

4-4 労働安全衛生規則の一部が改正(静間)

・主にチェーンソーによる伐採作業に関してで、技術
的な内容の他に、装備に関して次のように義務付け
ている。→事業者に、チェーンソーによる伐木作業等
を行う労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させ
ること。また、当該労働者に、当該切創防止用保
護衣を着用することを義務付ける。

5. センター連絡事項(小川)

5-1 「油山50周年記念行事 10/27(日)」

・森会へ感謝状を贈呈する。鎌田代表出席。

5-2 市民の森管理事務所が、環境省の委託事業
として「里山まるごと体験」を下記3回に分けて
実施する。

第1回 「秋の里山を歩こう」

11/17(日) 13:00~15:30 →森会がお手伝

第2回 「里山のお世話をしよう」

12/15(日) 13:00~15:45

第3回 「里山の恵みをいただこう」

1/19(日) 10:00~13:30

6. 発送作業 ①会報第131号

活動予定(12月~)

★〈作業〉〈調査〉〈観察〉は小雨決行

〈うん・えー会〉〈勉強会〉は雨天決行

活動時間: 9:30集合 ~ 15:30解散

★荒天の場合はセンターまでお問い合わせください。

★活動内容は、当日の参加人数、天候等によって変
更になる場合があります。

★〈作業〉の標記のある日の服装は「森会スタイル」

(長袖、長ズボンで安全に作業ができる動きやす
い服装)でご参加ください。必要な持ち物は

いぼ付軍手・帽子・タオル・弁当・飲物・おやつ

筆記用具の他、必要に応じて着替え・雨具をご持

参ください。

12月15日(日) 納会

温かい料理を食べながら活動を振り返ります。

1月12日(日) アカマツ林作業と幼木調査

アカマツ林作業

D、E地区での広葉樹の除間伐を行います。

幼木調査

B地区の調査区画での調査とA~Fの各区でマー
キングしているアカマツ幼木の大きさなどを計測
する調査を行います。

1月19日(日) カブトムシの森作業

除伐、草刈り、落ち葉掻きをします。

2月9日(日) カブトムシの森作業(シイタケ駒 打体験会) ☆

カブトムシの森の作業体験のあと、シイタケの菌
打ちを行います。

2月23日(日) カブトムシの森作業

除伐、草刈り、落ち葉掻きをします。

3月7日(土) 年度末うん・えー会

当年度議題-活動実績報告、世話役振り返り、会
計報告、次年度議題-役員、会員、活動、予算
等の関連

3月22日(日) アカマツ林作業

D、E地区での広葉樹の除間伐を行います。

油山自然観察の森 森を育てる会

会報『森ものがたり』 季刊発行

編集: 川上寛、国広信幸、鎌田隆、静間純、松雪清人

印刷担当: 小川真樹
